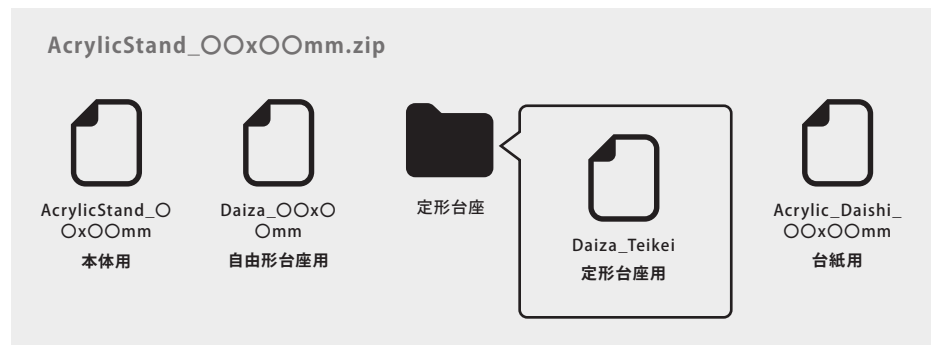


# ※テンプレートファイルについて

アクリルスタンド アクリルグッズ

- ・注文サイズとテンプレートサイズが同じか確認して下さい。
- ・台座は「自由形、定形」どちらか選んでデータを作成してください。

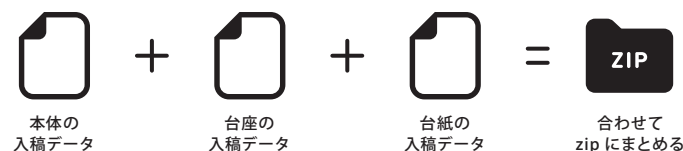


## ・入稿に必要なデータ

- ・本体と台座のデータを共にzipファイルで入稿して下さい。  
台座に印刷しない場合でも、本体と台座合わせてご入稿ください。



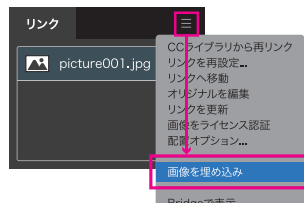
- ・**台紙あり**のご注文の場合は台紙のデータも共にzipファイルで入稿して下さい。



※データが完成したら、入稿前に再度保存データを開いていただき正常に保存されているか確認をお願いします。

## ▲ 画像の埋め込み

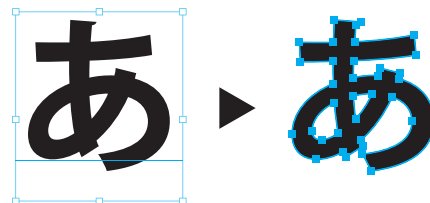
画像を配置している場合は、すべての画像を必ず「埋め込み」して下さい。「埋め込み」にするとIllustratorファイル自体に画像のデータが取り込まれるため、画像データを別途ご入稿していただく必要はありません。



ウィンドウ > リンク > 画像選択 > パネルオプション > 画像を埋め込み

## ▲ 文字をアウトライン化

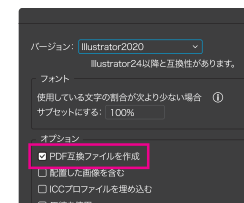
入稿前にテキストを全てアウトライン化してください。レイヤーロックとオブジェクトのロックが解除されていることを確認し、全てのデータを選択してアウトラインを作成して下さい。



選択 > すべてを選択 > 書式 > アウトラインを作成

## ▲ PDF互換ファイルを作成

テンプレートデータは、保存オプション「PDF 互換ファイルを作成」にチェックが付いています。これはデータチェックの際に必要なので、別名で保存する際にも外さないようにして下さい。



別名で保存 > 保存 > Illustratorオプション > オプション > PDF互換ファイルを作成

データ作成の際は必ずデジタの**テクニカルガイド**をご覧ください >>

<https://www.digitaprint.jp/acryl/tg/stand>



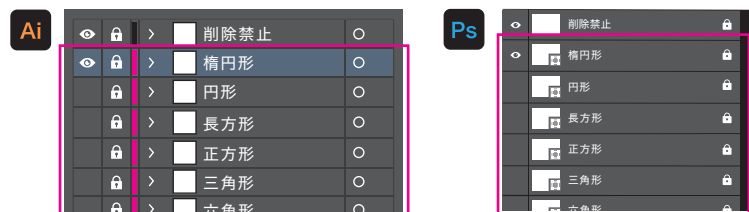
# ≡データ作成前に必ずご確認ください

- ・ドキュメント情報・既存のレイヤー情報は変更しないで下さい。
- ・使用したいレイヤーだけを表示して使用して下さい。

・ **本体の場合**、デザインする向きのレイヤーを表示して使用して下さい。



・ **定形台座の場合**、使用する形状のレイヤーを表示して使用して下さい。



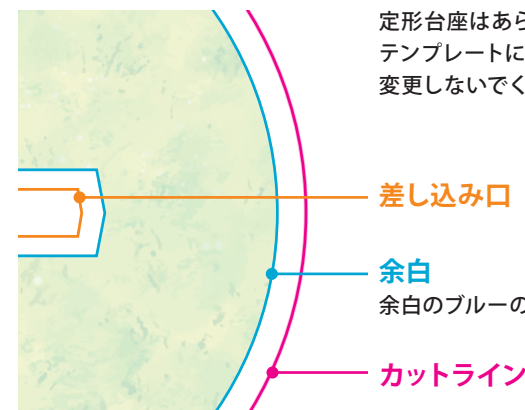
本体 自由形台座



— グリーンの線内で  
データを作成して下さい。

グリーンの線の内側にデザインとカット  
ライン、ツメまたは差し込み口が全て収  
まるように作成して下さい。

定形台座



定形台座はあらかじめカットラインが設定されています。  
テンプレートに既に設定されているカットラインや余白の線  
を変更しないでください。

差し込み口

余白

余白のブルーの線より内側がデザインできる範囲です。

カットライン



### デザインデータについて

#### 各デザインレイヤーにデザインデータを配置

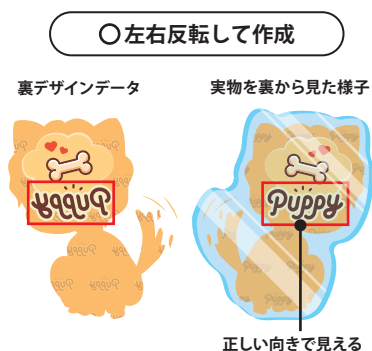
「表デザイン」レイヤーに表デザインデータを配置して下さい。両面デザインをご希望の方は、「裏デザイン」レイヤーに裏デザインデータを配置して下さい。

#### ホワイトインクとクリアインクデータの作成

ホワイトインクやクリアインクを使用する場合は「ホワイト」と「クリアインク」レイヤーそれぞれの目のアイコンを ON にして該当レイヤーへ印刷箇所のデータを作成して下さい。必ずホワイトは K (黒) で、クリアインクは C100%でご指定下さい。

#### 裏デザインは左右反転する

裏デザインを作成される場合は左右反転して作成してください。



### カットラインについて

#### 「カットライン」レイヤーにカットラインデータを配置

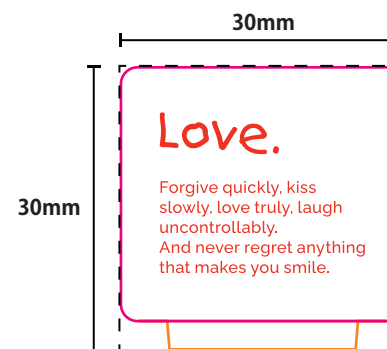
カットラインを「カットライン」レイヤーへ配置して下さい。Illustrator をお使いの方はパスで、Photoshop をお使いの方はシェイプでカットラインを作成して下さい。くり抜き加工をご注文された場合は、くり抜き箇所もカットラインでご指定下さい。カットラインの色については指定はありません。

#### デザインとカットラインに余白を確保

必ずカットラインとデザインの間には 2mm 以上の余白、カットライン同士の間には 5mm 以上の余白が出来るように作成して下さい。

#### 30×30mm以上のサイズで作成

アクリルスタンドの本体や台座のカットラインのサイズはツメを含め 30×30mm 以上が必要です。カットラインが部分的に細い箇所は 10mm 以上の幅を確保して下さい。

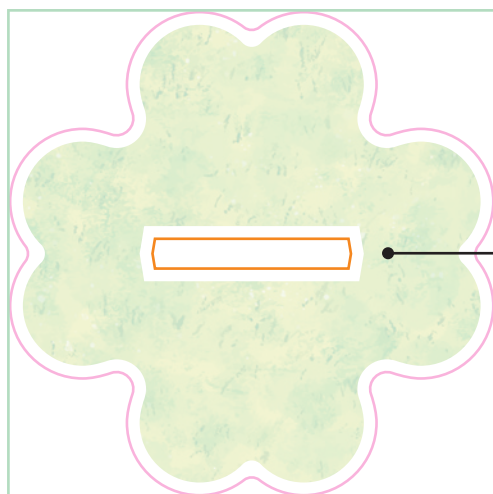


## ツメと差し込み口について

### 入稿データ作成例



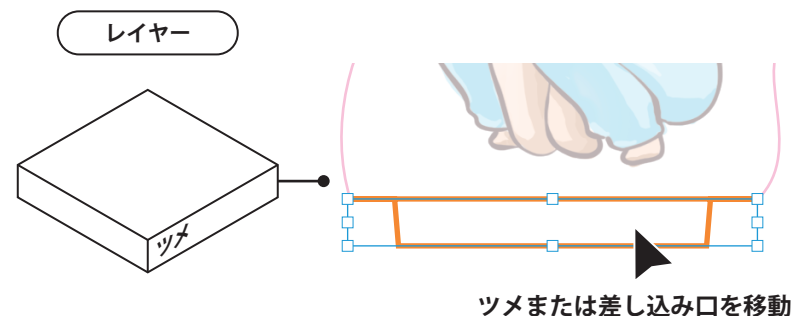
**ツメ**  
台座に差し込むためのツメです。



**差し込み口**  
本体のツメを差し込むための穴です。

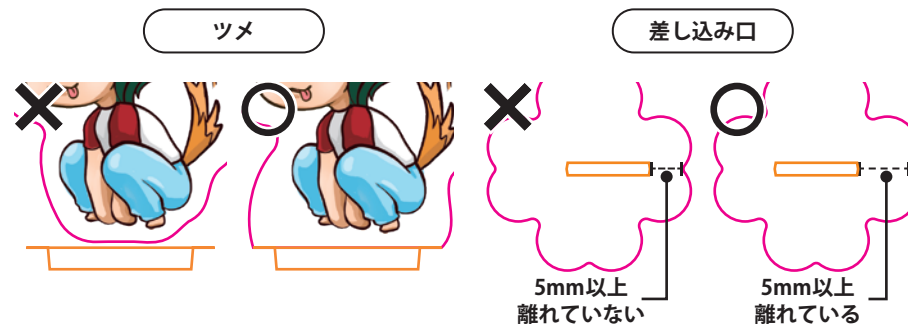
## ツメと差し込み口を配置する

テンプレート内にあるツメと差し込み口をそれぞれのデータ内で移動させて下さい。  
ツメと差し込み口は変形させたりカットラインと結合させたりはせずに、そのままお使い下さい。



## ツメと差し込み口の配置方法

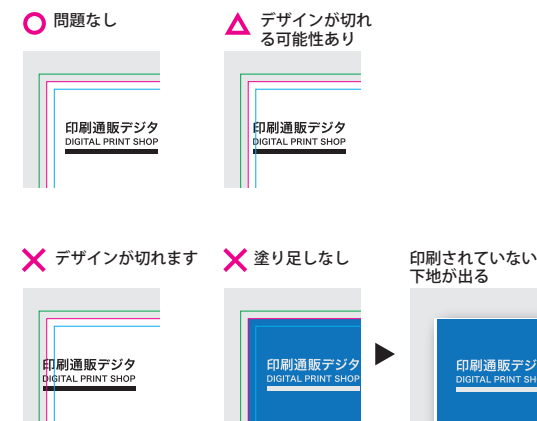
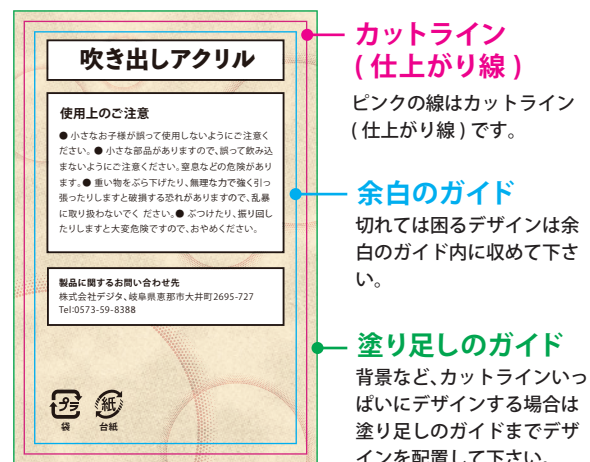
本体のカットラインとツメが直線でぴったり接地するように配置して下さい。  
差し込み口は台座のカットラインから 5mm 以上離して配置して下さい。



# ※データ作成前に必ずご確認ください

台紙 アクリルグッズ

- ・注文サイズとテンプレートサイズが同じか確認して下さい。
- ・ドキュメント情報・既存のレイヤー情報は変更しないで下さい。
- ・アクリルグッズと台紙のデータを共にzipファイルで入稿して下さい。



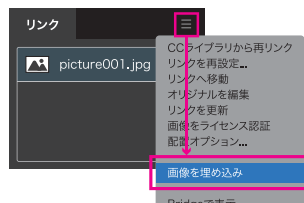
※アクリルスタンドの台座は裏面に入れて包装します。裏面にバーコードなどをプリントすると、台座が被って読み取れなく恐れがあります。

## Ai Illustratorをお使いの方は入稿前のチェック

※データが完成したら、入稿前に再度保存データを開いていただき正常に保存されているか確認をお願いします。

### ▲ 画像の埋め込み

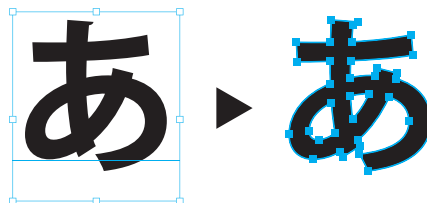
画像を配置している場合は、すべての画像を必ず「埋め込み」して下さい。「埋め込み」にするとIllustratorファイル自体に画像のデータが取り込まれるため、画像データを別途ご入稿していただく必要はありません。



ウィンドウ > リンク > 画像選択 > パネルオプション > 画像を埋め込み

### ▲ 文字をアウトライン化

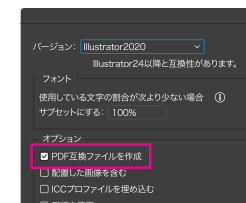
入稿前にテキストを全てアウトライン化してください。レイヤーロックとオブジェクトのロックが解除されていることを確認し、全てのデータを選択してアウトラインを作成して下さい。



選択 > すべてを選択 > 書式 > アウトラインを作成

### ▲ PDF互換ファイルを作成

テンプレートデータは、保存オプション「PDF 互換ファイルを作成」にチェックが付いています。これはデータチェックの際に必要ですので、別名で保存する際にも外さないようにして下さい。



別名で保存 > 保存 > Illustratorオプション > オプション > PDF互換ファイルを作成

データ作成の際は必ずデジタのテクニカルガイドをご覧ください >>

<https://www.digitaprint.jp/acryl/option-mount>

